

## 新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

### 新規受託項目

#### ● L 型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)

### 検査要項

|          |   |
|----------|---|
| 検査項目名    | L 型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)  |
| 項目コードNo. | 3465  |
| 検体量      | 尿1.5 mL ※1  |
| 採血容器     | 容器番号28:尿一般容器  |
| 検査方法     | ELISA   |
| 基準値      | 8.4 $\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$ 以下 ※2   |
| 所要日数     | 4~10日   |
| 検査実施料    | 210点(D001-「13」尿中特殊物質定性定量検査)   |
| 検査判断料    | 34点(尿・糞便等検査判断料)   |
| 備考       | ※1 酸性蓄尿は検査値に影響を及ぼす場合がありますので、避けてください。<br>※2 クレアチニン換算値( $\mu\text{g/g}\cdot\text{Cr}$ )及び濃度( $\text{ng/ml}$ )をご報告します。 |

### 受託開始日

#### ● 平成 24 年 7 月 9 日(月) 受付日分より

※裏面をご覧ください



## ●L 型脂肪酸結合蛋白(L-FABP)

L型脂肪酸結合蛋白(Liver-type fatty acid binding protein:L-FABP)は、肝臓・腸管・腎臓に局在する脂肪酸結合蛋白です。尿中のL-FABPは、腎臓の近位尿細管に特異的に発現し、糸球体で濾過された遊離脂肪酸と結合して細胞内の脂肪酸の恒常性を保つなど、エネルギー代謝や脂質代謝に重要な働きをしていると考えられています。

近位尿細管が虚血や酸化ストレスの負荷を受けると、L-FABPの発現が増強し、尿中への排出が増加します。尿中L-FABPは、障害を受けた結果を示す既存の腎機能マーカーと異なり、尿細管に負荷されたストレスの程度を反映する特徴をもつ新しいバイオマーカーです。

尿中L-FABPは、糖尿病性腎症において早期から有意に高値を示し、病期の進行や治療に伴い増減するとの報告がされています。今後もますます糖尿病性腎症を中心に増加が予想される慢性腎疾患(CKD)において、尿中L-FABPは早期診断やモニタリングの指標として期待されています。

### 関連する主な疾患

---

- ・腎疾患
- ・糖尿病

※高値を示す病態:糖尿病性腎症、糖尿病、慢性腎疾患

### 関連する主な検査項目

---

- ・尿中IV型コラーゲン
- ・尿中アルブミン

### 参考文献

Kamijo A, et al: Journal of Laboratory and Clinical Medicine 143(1): 23~30, 2004.

(検査方法参考文献)

上条-池森 敦子, 他: Mebio 27(1) : 58~63, 2010.